

鳥取県米子市出身で日本を代表する若手オペラ歌手のひとりである、山本耕平が歌唱を交えて語る「B→C山本耕平テノールリサイタル」を100倍楽しむためのイベント。1998年から続く東京オペラシティの名物企画リサイタルシリーズ「B→C」。初の米子開催を前に、自らその魅力を解き明かします！

ビートゥーシー
B→C

バッハからコンテンポラリーへ 関連企画

参加無料
要整理券

山本耕平とひも解く B→C (バッハからコンテンポラリーへ) の魅力



「B→C(読み方:ビートゥーシー)」とは？

東京オペラシティ文化財団主催のリサイタルシリーズ。
東京・新宿にある「東京オペラシティ リサイタルホール」を会場に、1998年から現在まで続いている人気公演です。実力ある若い日本人アーティストの中から年間10名を選出し、バッハ(B)とコンテンポラリー(C)の作品をプログラムに必ず入れた上で、出演者自身が選曲。このことにより、各出演者の個性が発揮され、東京オペラシティの名物企画として、クラシック音楽ファン、演奏家等から注目を集め、今日まで長年にわたり高い評価を得ています。
東京では年間10回開催しており、山本耕平は277人目の出演者。2009年からは、東京以外にて同プログラムを年2回のペースで開催。北海道から沖縄まで全国各地で公演を行っており、鳥取県では初の開催となります。

苦悩から人間讃歌へ…

己はどうあるべきか、迷い、苦しみ、そして救われ…。

今回のリサイタルは、オペラや歌曲の登場人物たちの心を、歌で紡ぐプログラムです。プログラムの核心に触れながら、今回は本番で歌う曲の中から選りすぐりの3曲をピックアップし、歌唱を交えて分かりやすく解説します。
たくさんの皆様のご参加をお待ちしております！

お話・歌：山本耕平(テノール) 聞き手：澤橋 淳(東京オペラシティ文化財団 プロデューサー)

1984年鳥取県米子市出身。東京学芸大学クラリネット専修を経て東京藝術大学声楽科卒業。同大学大学院修了。ミラノ・ヴェルディ音楽院ビエンニオコース修了。イタリア声楽コンクール、日伊声楽コンクール第1位、エネルギー音楽賞、五島記念文化賞・オペラ新人賞、ほか受賞多数。米子市ふるさとPR大使、とっとりふるさと大使。令和4年度鳥取文化奨励賞(第1回)受賞。洗足学園音楽大学講師。二期会会員。

2025年 **8月23日(土)** 14:00 開場 13:30 終了予定 15:00
とりぎん文化会館 リハーサル室

参加無料
事前申込制
(限定70席)

(〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5)

整理券取り扱い

- とりぎん文化会館、エスパック未来中心、アルテプラザ、WEBチケとっとり
(各施設共お電話でのご予約は受け付けておりません。)
- 7月26日(土) 10:00～より お1人様10枚まで。定員に達し次第、締切とさせていただきます。

WEBチケとっとり



(要メールアドレス
初回使用時登録要/
登録料等無料)

好評発売中!

B→C 山本耕平テノールリサイタル (米子公演)

2025年9月27日(土) 15:00 米子市文化ホール メインホール 全席指定 一般:¥3,000
学生(高校生以下):¥1,500

[お問い合わせ] アルテプラザ(鳥取県文化振興財団 西部事務所):0859-38-5127 (火～土:9～17時/日・月:休)

主催:公益財団法人 東京オペラシティ文化財団 公益財団法人 鳥取県文化振興財団
米子市、一般財団法人 米子市文化財団(米子市文化ホール) 協賛:日本生命保険相互会社



●就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。 ●都合により出演者・内容等が変更になる可能性があります。ご了承下さい。

鳥取県米子市出身で日本を代表する若手オペラ歌手のひとりである、山本耕平が歌唱を交えて語る「B→C山本耕平テノールリサイタル」を100倍楽しむためのイベント。1998年から続く東京オペラシティの名物企画リサイタルシリーズ「B→C」。初の米子開催を前に、自らその魅力を解き明かします！

ビートゥーシー
B→C バッハからコンテンポラリーへ 関連企画
山本耕平とひも解く
B→C (バッハからコンテンポラリーへ) の魅力

参加無料
要整理券



「B→C(読み方:ビートゥーシー)」とは？

東京オペラシティ文化財団主催のリサイタルシリーズ。
東京・新宿にある「東京オペラシティ リサイタルホール」を会場に、1998年から現在まで続いている人気公演です。実力ある若い日本人アーティストの中から年間10名を選出し、バッハ(B)とコンテンポラリー(C)の作品をプログラムに必ず入れた上で、出演者自身が選曲。このことにより、各出演者の個性が発揮され、東京オペラシティの名物企画として、クラシック音楽ファン、演奏家等から注目を集め、今日まで長年にわたり高い評価を得ています。
東京では年間10回開催しており、山本耕平は277人目の出演者。2009年からは、東京以外にて同プログラムを年2回のペースで開催。北海道から沖縄まで全国各地で公演を行っており、鳥取県では初の開催となります。

苦悩から人間讃歌へ…

己はどうあるべきか、迷い、苦しみ、そして救われ…。

今回のリサイタルは、オペラや歌曲の登場人物たちの心を、歌で紡ぐプログラムです。
プログラムの核心に触れながら、今回は本番で歌う曲の中から選りすぐりの3曲をピックアップし、歌唱を交えて分かりやすく解説します。
たくさんの皆様のご参加をお待ちしております！

お話・歌：山本耕平(テノール) 聞き手：澤橋 淳(東京オペラシティ文化財団 プロデューサー)

1984年鳥取県米子市出身。東京学芸大学クラリネット専修を経て東京藝術大学声楽科卒業。同大学大学院修了。ミラノ・ヴェルディ音楽院ビエンニオコース修了。イタリア声楽コンクール、日伊声楽コンクール第1位、エネルギー音楽賞、五島記念文化賞・オペラ新人賞、ほか受賞多数。米子市ふるさとPR大使、とっとりふるさと大使。令和4年度鳥取文化奨励賞(第1回)受賞。洗足学園音楽大学講師。二期会会員。『ドン・カルロ』『リゴレット』等に出演の他、『ヤマトタケル』『景虎』など邦人作曲家による新作オペラや『ルル』『金閣寺』等近現代のオペラにおいても高い評価を得ている。13歳の主人公・登を演じた『午後の曳航』(三島由紀夫原作・宮本亜門演出)は第32回三菱UFJ信託音楽賞を受賞した。

2025年 **8月24日(日) 14:00** 開場 13:30 参加無料
終了予定 15:00 事前申込制
米子市文化ホール イベントホール (限定100席)

整理券取り扱い

- 米子市文化ホール (お電話でのご予約は受け付けておりません。)
- 7月26日(土) 10:00～より お1人様10枚まで。定員に達し次第、締切とさせていただきます。

好評発売中! **B→C 山本耕平テノールリサイタル (米子公演)**

2025年9月27日(土) 15:00 米子市文化ホール メインホール 全席指定 一般:¥3,000
学生(高校生以下):¥1,500

[お問い合わせ] 米子市文化ホール: 0859-35-4171 (休館日: 毎週火曜)

主催: 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団 公益財団法人 鳥取県文化振興財団
米子市、一般財団法人 米子市文化財団(米子市文化ホール) 協賛: 日本生命保険相互会社



●就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。 ●都合により出演者・内容等が変更になる可能性があります。ご了承下さい。